

町営バス 七ヶ宿発白石行き

10月1日から運行開始です

9月30日をもってミヤコーバスが七ヶ宿白石間の運行を終了することとなりました。

町では、路線を存続するため国、県、白石市と話し合いをしてきました。町民のみなさんが必要な時間帯、便数を考慮した結果、七ヶ宿町による運行を行うこととしました。

白石までの経路は路線名を「七ヶ宿白石線」と決定しました。今回運行時刻を検討するにあたり、既存の「七ヶ宿街道線」、「七ヶ宿長老線」との接続やJR東北本線やJR東北新幹線との乗り継ぎも考慮しました。町内だけではなく、白石市へ行くこと、さらに白石市から近隣市町、仙台市、東京へ行くことも想定しました。

みなさんがより便利になるよう心がけましたが、接続の関係でご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。詳しいことは次のとおりです。

スタートは？

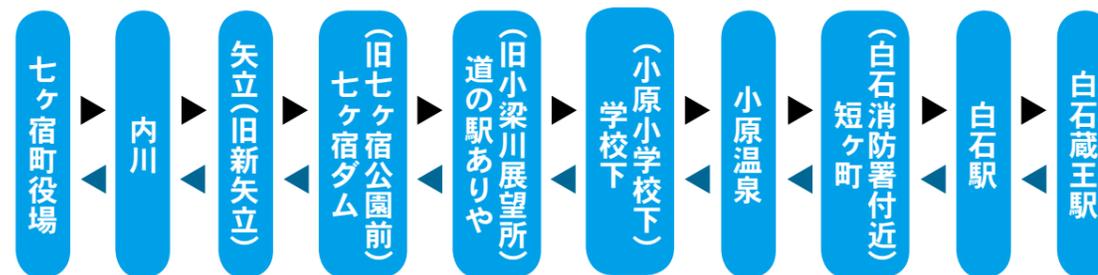
平成22年10月1日から運行開始です。

便数は？

平日は10便、5往復、休日は6便、3往復です。詳しい運行時刻は別添(時刻表)のとおりです。

バス停は？

①バス停留所



※平日のみですが午前の行き1便と、午後の帰り1便が刈田病院にとまります。

②今回七ヶ宿町内のバス停の名前を変更しました。

旧 「関開発センター」 → 新 「七ヶ宿町役場」
 旧 「南蔵王ユースホテル」 → 新 「長老湖東」

料金は？

①七ヶ宿町役場から白石蔵王駅までの区間で1回200円、小児は100円、敬老乗車券を提示された方は無料となります。(これまでの町営バスと同)

②七ヶ宿街道線又は七ヶ宿長老線から七ヶ宿白石線を乗り継いで通学される場合で、定期を購入される場合は、1路線の料金とします。

例：千蒲(長老)から白石への通学定期1ヶ月の料金は7,200円となります。

問い合わせ

七ヶ宿町総務課企画係 電話37-2194 (担当 小川)



「なつ」



今年の四月から湯原小学校で事務員として働かせて頂いている赤間と申します。出身は村田町です。

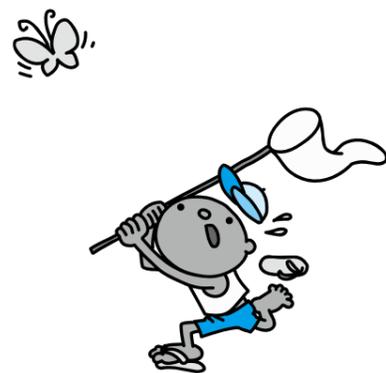
さて、四月から始まった私の七ヶ宿生活は、周りの人たちに支えられながら間もなく半年を迎えようとしています。そんななか、湯原では夏休み期間中に「ゆのはら自然体験村」が開催されました。県内外から多くの子どもたちが湯原を訪れ、地域の子どもたちと共にバーベキューをしたり肝試しをしたりと思い出づくりに励んでいました。

特に峠田地区で行われた川遊びでは、大人も子どもも夢中になって魚を追いかけた結果、大小併せて二十四匹前後の川魚の捕獲に成功し、その場にいた誰も

が大興奮状態でした。今年の夏の体験が、参加したすべての人々にとつて忘れられないものになってくれればと思います。今回は、湯原小学校教頭「佐々木 俊さん」(湯原)にリレーされます。



湯原 赤間 雅彦 さん



「秋の交通安全町民総ぐるみ運動」が始まります

～あなたがつくれます
交通事故のないまち ない通り～

実施期間 9月21日(火)～30日(木)
運動の基本 高齢者の交通事故防止
運動の重点

- ①夕暮れ時と夜間走行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ③飲酒運転の根絶

町民のみなさまのご協力をお願いします。

夏期短期山村留学

「ゆのはら自然体験村」が開催されました

7月27日から30日の3泊4日にわたり、短期山村留学が開催されました。参加者は、県内はもとより遠くは東京から、年齢は7歳から12歳の総勢28名が参加されました。

3泊4日の間、農業体験、川遊び、そば打ちなどを体験しました。参加した28名の児童は、七ヶ宿の自然の中で過ごした夏の思い出を胸に帰っていきました。

